9月12日号
(昭和24年5月10日 第2596号 2002年(平成14年) 第三種郵便物認可)

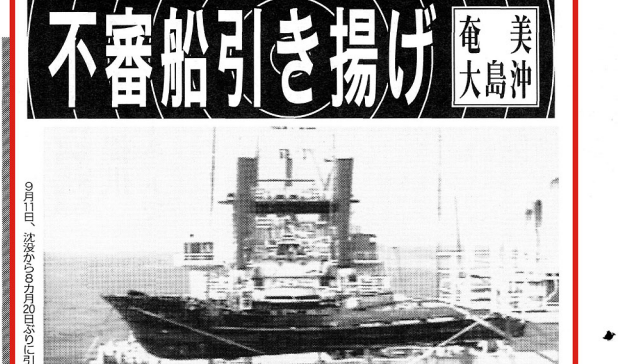
海上保安新聞

発行所 財団法人 海上保安協会
〒104-0045 東京都中央区築地 5－3－1
電話 03－3542－9678～9
FAX 03－3541－9085
(毎週木曜日発行)
購読料 月極610円 送料共

黒松 千福
株式会社 三宅本店(広島・呉)

不審船引き揚げ

奄美大島沖



9月11日、沈没から8カ月20日ぶりに引き揚げられた不審船

沈没から8カ月20日

3日ほどかけ鹿児島へ 21日前後から本格調査

鹿児島県・奄美大島沖で昨年十二月十二日に沈没した不審船が九月十二日、引き揚げられた。事件から八カ月と二十日、引き揚げ作業開始から二カ月半越しとなる。海上保安庁は、船体引き揚げを統轄機関で負傷した海上保安官への「殺人未遂容疑事件」証拠物の回収としているが、船体の回収により不審船の構造、装備、国籍、航行目的などに迫まるものと関係者は期待している。

引き揚げられた船は船橋まま、三日ほどかけて鹿児島へ運搬、安全確認して陸上げ作業が開始された。作業開始時は霧の中で途中で雨が降ったりと、悪天候続きだったが、波は静かで、午前六時の潮流は水深五〇メートルで南東に向けの・九ノット。台船のクレーンを巧ま

ず、午前四時二十分、吊り上げ、敷水艦が降下。鹿児島海上保安官への「殺人未遂容疑事件」証拠物の回収として、船体の回収により不審船の構造、装備、国籍、航行目的などに迫まるものと関係者は期待している。

引き揚げられた船は船橋ま

ず、午前四時二十分、吊り上げ作業が開始された。作業開始時は霧の中で途中で雨が降ったりと、悪天候続きだったが、波は静かで、午前六時の潮流は水深五〇メートルで南東に向けの・九ノット。台船のクレーンを巧ま

ず、午前四時二十分、吊り上げ作業が開始された。作業開始時は霧の中で途中で雨

台風との闘い 七回も作業中断

引き揚げ作業は台風との闘いだった。作業船が現場を離脱したのが七回。現場見巡視船による正当防衛射撃に向かう途中で反転するケースも二回あった。

七月二十日から二十日まで十九日間は、台風5、6、8、7号と防げられて作業中断した。八月四日から二十日までの一週間は台風12号などに妨げられた。

不審船は十二月一二日未明に奄美大島北西の排他的経済水域(EEZ)外の公海上で、海上保安庁巡視船「あまぎり」が約二〇キロの距離まで迫っていてレーダー監視を続けていた。

「不審船」は日付前零時三十分、日本の防空識別圏を通過、三時十九分に公海上に出た。最終確認位置は北緯北緯北緯